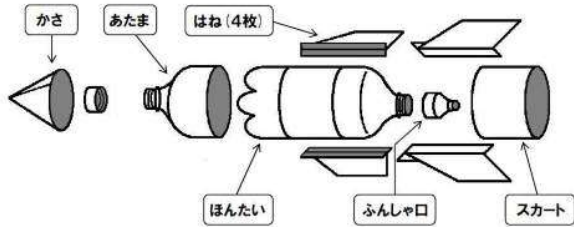


水ロケット

ねらい	<p>ペットボトルの特性を生かし、水ロケットを作って、飛ばす活動を通して、創作の楽しみを味わうとともに、用具の安全な使い方を知る。</p> <p>空気圧を推進力に変える現象を通して、科学への関心を高める。</p>
時間	2時間30分（発射実験までを含む）
費用	厚紙50円 ビニルテープ50円
対象	小学生以上
人数	50人程度
場所	創作の館、多目的ホール、つどいの広場
準備・道具	<p>【参加者が用意する物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル (炭酸系の500mlでくびれのない円筒形のもの2本) <p>【ふれあいセンターが準備する物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニルテープ ・接着剤 ・工作用カッター ・はさみ ・定規 ・油性ペン ・ホッチキス ・厚紙(型つき) ・噴射口 ・空気入れ ・発射台
展開	<ol style="list-style-type: none"> 1 用具の準備 2 集合、人数確認 3 作り方の説明、注意事項、用具の配布 4 創作開始 <ul style="list-style-type: none"> (1) ペットボトルを頭とスカートの部分に分ける。 (2) 本体に頭とスカートをつける。 (3) 厚紙ではねとかさを作り、模様などを描き、本体につける。 (4) 完成したロケットを飛ばす。 <ul style="list-style-type: none"> ア ペットボトルに、水を半分ぐらい入れる。(250ml程度) イ 本体に噴射口を取り付け、発射台にセットする。 ウ 空気入れで空気を入れて発射する。(15回程度) 5 後始末と用具の返却 6 まとめ(相互鑑賞等) 7 解散
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全面には十分気を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・カッターの取り扱いに注意する。 ・水ロケットを発射する際は、大人の人と一緒に飛ばし、人に向けて飛ばさない。また、障害物のない広い場所で飛ばす。 ○ 用具等は大切に扱い、元の場所に確実に返却する。 ○ ゴミなどの後始末や研修室の清掃を行う。

水ロケット

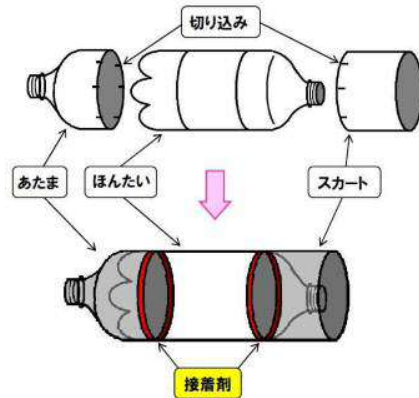
【分解図と部品の名称】



【準備するもの】

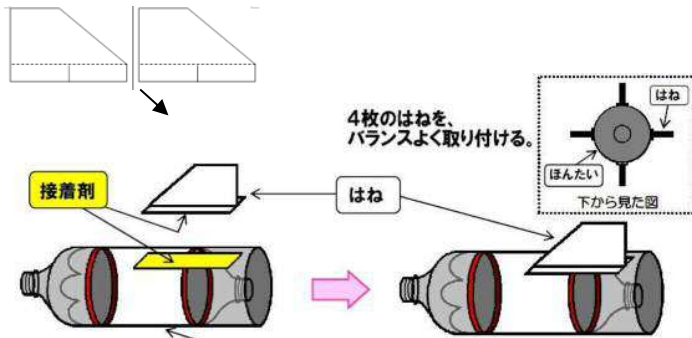
- ペットボトル(炭酸系2本)
- ビニルテープ
 - 接着剤
 - 工作用カッター
 - はさみ
 - 定規
 - 油性ペン
 - ホッチキス
 - 厚紙 (型つき)
 - 空気入れ(発射口付き)
 - 発射台

- 1 ペットボトルを頭とスカートの部分に分ける。
- 2 本体に頭とスカートを付ける。
※ 接着剤やホッチキスで接着した後、
ビニルテープで補強する。

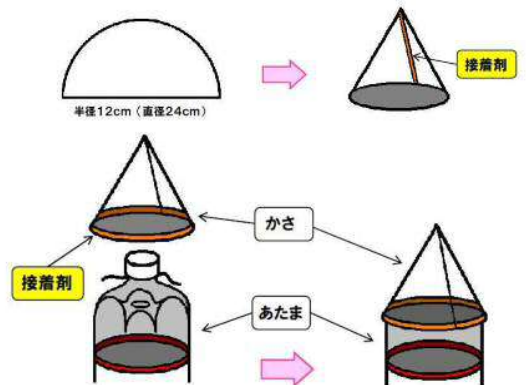


- 3 厚紙からはねとかさの型を切り抜き、模様などを描き、本体に取り付ける。

① はねの取り付け



② かさの取り付け



- 4 水ロケット完成！ 噴射口を取り付け、発射台に置いたら、ロケット発射！

- ① 水を入れ、発射口を付ける。
- ② 空気入れで空気を入れる。
- ③ 安全を確認して発射する。

